

摂南大学の入試が変わる。 さらに受けやすく、合格のチャンスが拡大！

得意科目や高校での頑張りを生かせる 公募制推薦入試のPOINT

POINT 01 互いに併願できる2つの評価型で合格のチャンス拡大（同一学部・学科のみ）

併願可能

- 総合評価型**
 - 適性検査の得点に調査書の「全体の学習成績の状況」を10倍した高校成績点（50点満点）を加点します。
 - 高校等での諸活動や取得資格を諸活動・資格点として、最大25点まで加点します。
- 基礎評価型**
 - 適性検査の総合点で合否を判定します。
 - 必見！「英語資格等保持者優遇制度（みなし得点制度）」が利用できます。
※薬学部を除く全学部（国際学部独自方式は対象外）

※後期日程は、いずれの評価型も薬学部・看護学部のみ「面接」得点を加えて合否を判定します。
※いずれの評価型も「入学希望理由書」（点数化なし）を含めて総合的に合否を判定します。

POINT 02 得意科目を生かせる

「高得点科目重視方式」を併願すると、受験した2科目のうち高得点科目を2倍（200点満点）に換算して合否判定します（同一学部・学科のみ）。 ※後期日程は「高得点科目重視方式」のみ。

POINT 03 他学部・学科の併願が可能

- 他学部・学科併願制度を利用できます。
- 理工学部は、学科の第二志望科目があります【無料】。
※詳細は学生募集要項をご確認ください。

POINT 04 前期日程の合否確認後に後期日程の出願が可能

昨年度、後期日程合格者のうち45%は前期日程からの再受験者でした。前期日程が不合格でも諦めずに再チャレンジするのが年内合格のカギ！

新規受験 55% → 後期日程合格者 45%

POINT 05 特別奨学生チャレンジ制度

公募制推薦入試に合格し、入学手続を完了した方は、「一般選抜 前期日程（3科目型スタンダード方式）」および「共通テスト利用入試 前期」の特別奨学金制度に、それぞれ1出願分の入学検定料が無料（最大2出願分）でチャレンジできます。

摂南大学2027年度 入試スケジュール

入試区分		出願期間	試験日	合否発表日
公募制推薦入試	前期日程	2026年11/1（日）～11/9（月）	2026年11/19（木）・11/20（金）	2026年12/3（木）
	後期日程	2026年11/20（金）～12/7（月）	2026年12/15（火）	2026年12/26（土）
一般選抜	前期日程（3科目型・2科目型）	2026年12/15（火）～1/15（金）	2027年1/24（日）・1/25（月）・1/26（火）	2027年2/8（月）
	共通テスト併用入試 前期（3科目型・2科目型）			2027年2/25（木）
	NEW 中期 A日程（3科目型・2科目型）		2027年2/9（火）	
	NEW 共通テスト併用入試 中期A（3科目型・2科目型）	2026年12/15（火）～1/29（金）		2027年2/25（木）
	中期 B日程（2科目型）		2027年2/10（水）	
	共通テスト併用入試 中期B（2科目型）			
	後期日程（2科目型）	2027年2/2（火）～2/27（土）	2027年3/7（日）	2027年3/17（水）
共通テスト利用入試	前期	2026年12/15（火）～2027年1/15（金）		2027年2/25（木）
	中期	2026年12/15（火）～2027年1/29（金）	個別学力試験は課しません	2027年3/17（水）
	後期I	2027年2/2（火）～3/2（火）		2027年3/25（木）
	後期II	2027年3/2（火）～3/15（月）		

全学部対象
入試対策講座
～ 寝屋川キャンパス開催 ～

公募 公募制推薦入試
対策講座 9/6（日）

一般 一般選抜
対策講座 12/12（土）

Smart and Human
摂南大学

寝屋川キャンパス 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8
枚方キャンパス 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1

摂南大学でのリアルなキャンパスライフを紹介！

各種イベント（オープンキャンパス、進学相談会）、学生募集要項公開のお知らせなど受験の最新情報を配信します。



Instagram



TikTok



YouTube



LINE



入試情報
サイトは
こちら



Smart and Human
摂南大学



2026年度
公募制推薦入試問題分析パンフレット

解く、 摂南。

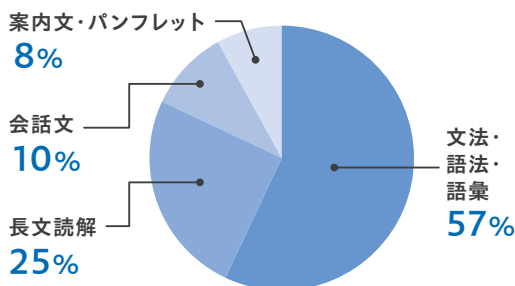
全体概観

- 大問5題で構成
- 文法・語法・語彙の知識がカギ
- 読解力と情報処理力も必要

- ★大問5題で構成。出題形式は大問Ⅰは長文読解、Ⅱは文法・語法・語彙の空所補充、Ⅲは語句整序（英作文）、Ⅳは適文選択（対話文）、Ⅴは案内文・パンフレットなどを用いた読解問題。
- ★大問Ⅰでは語彙・語句の知識を問う問題が出題されるほか、Ⅱの空所補充やⅢの語句整序でも文法・語法・語彙の知識が問われる。これらは試験全体の中でも大きな割合を占めるため、基礎から標準レベルの語彙・熟語・文法事項を幅広く復習しておきたい。
- ★読解力と情報処理力は、長文問題だけでなく、対話文問題やパンフレットを扱う問題でも不可欠である。設問を先読みする解き方や表・資料と設問を照合しながら読み進める練習を繰り返し行うこと。

[2026年度実績]

出題内容			公募制推薦入試 日程		
			11/20 解答数	11/21 解答数	12/15 解答数
長文読解	下線部	同意表現・多義語・類語	8	8	8
	本文	内容一致	4	4	4
対話文	空所補充	その他の文脈判断	5	5	5
文法・語法・語彙	空所補充		13	13	13
	語句整序		15	15	15
案内文・パンフレット	空所補充		4	4	4



一言POINT

- 1 文法・語法・語彙が得点源
- 2 資料・表読み取り問題あり

大問ごとの解答順序と時間配分

※大問ごとの解答順序と時間配分は、公募制推薦入試 前期日程1日目を対象としています。

問題番号	解答時間 (目安)	問題傾向と学習方法
Ⅱ	15分	文法・語法・語彙の空所補充が出題。基本文法と熟語を幅広く復習し、文構造や語法などを短時間で判断できるようにすること。
Ⅳ	5分	身近な場面を扱う会話文の適文空所補充が出題。空所前後の応答や話者の意図を読み取り、会話の流れに合う表現を選ぶ練習を行いたい。
Ⅴ	5分	講座一覧表やツアー案内を読み取る資料問題が出題。設問を先に確認し、日時・料金・条件などの必要な情報を素早く照合する力を身につけたい。
Ⅰ	20分	イギリスの紅茶の歴史と文化を扱う長文から出題。語句の意味を文脈から判断し、段落ごとの内容と選択肢を正確に照合する。
Ⅲ	10分	日本語に合うよう7語を並べかえる問題が出題。主語・動詞を中心に文の骨格を作り、熟語や構文のまとまりから組み立てる練習を行いたい。
見直し	5分	マークミスや設問の読み違いがないかを確認し、長文や資料問題は本文中の根拠と解答した選択肢が対応しているかを再確認する。

過去問演習

- 9月……過去問1回分を60分で解き、大問ごとの得点・所要時間と、語彙不足、文法知識不足、読解速度、資料の読み違いなどの失点原因を確認する。その後は、弱点の大問を重点的に補強する。
- 10月以降…通し演習で解答順序と時間配分を定着させる。
- 11月……これまで解いていない過去問を本番形式で解く。誤答は、正解の根拠と他の選択肢が誤りである理由まで確認する。

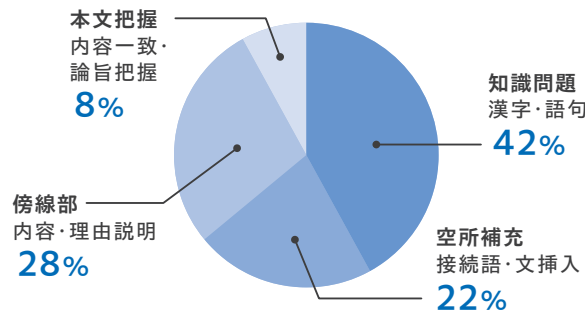
全体概観

- 大問数は2～3題で、漢字・語句などの知識問題と現代文の読解問題が出題
- 解答時間に対して文章量が多いため、速読力が求められる
- 漢字・語句の意味を問う知識問題は3日程すべてで出題

- ★3日程とも、漢字・語句などの知識問題と現代文の読解2題が出題される。解答数は、11/21が24問、11/20と12/15が25問。11/20のみ独立した漢字問題があるため大問3題構成、ほかの日程は大問2題構成。
- ★読解問題では評論文を中心に、傍線部の内容説明、理由説明、空所補充、内容一致などが問われる。文章の構成や筆者の主張を捉えながら、設問の根拠となる箇所を素早く見つける力が必要である。本文中の根拠をもとに選択肢を判断する練習を積んでおきたい。
- ★漢字の読み書き、語句の意味、慣用句などの知識問題も出題される。標準的な知識を確実におさえておきたい。

[2026年度実績]

出題内容		公募制推薦入試 日程		
		11/20 解答数	11/21 解答数	12/15 解答数
知識問題	漢字の書き取り	5	5	5
	語句の意味・知識	6	5	5
空所補充	接続語	2	1	
	文挿入	4	3	6
傍線部	内容説明	5	7	5
	理由説明	1	2	1
本文把握	内容一致	2	1	1
	論旨把握			2



一言POINT

- 1 漢字・語句で確実に得点
- 2 本文中の根拠をもとに選択肢を判断

大問ごとの解答順序と時間配分

※大問ごとの解答順序と時間配分は、公募制推薦入試 前期日程1日目を対象としています。

問題番号	解答時間 (目安)	問題傾向と学習方法
Ⅰ	8分	同音異義語・同訓異字を選択する問題。漢字検定準2級程度の漢字・語彙を学習すること。
Ⅱ	24分	ゴシック様式に関する評論文。具体例が多く、比較的論旨を追いやすい。傍線部の前後だけでなく、具体例と筆者の主張との関係を確認し、本文中の根拠をもとに選択肢を判断すること。
Ⅲ	24分	稲の品種改良と日本の植民地政策を扱った評論文。歴史的事実や具体例と、筆者の評価・主張との関係を整理しながら読むこと。また、繰り返される言葉と対比に印を付け、主題を理解すること。
見直し	4分	選択肢の読み違いや設問条件の見落とし、本文との根拠のずれがないかを確認する。

過去問演習

- 9月前半……過去問1回分を60分で解き、大問ごとの得点・所要時間・失点の原因を確認する。
- 9月後半……漢字・語句の反復と現代文の大問別演習を行い、正解の根拠や誤答の選択肢が誤りである理由を、本文中の根拠に基づいて説明できるようにする。
- 10月以降…通し演習を重ね、時間配分を定着させる。
- 11月……残しておいた過去問を本番形式で解き、新しい問題に取り組むよりも、間違えた問題や苦手分野の復習を優先する。

数学①②

試験時間 60分
満点 100点
解答方式 マークセンス方式

本分析は、2026年度入試問題を対象としています

全体概観

ー数学①

●大問2題、基本～標準レベルの小問集合

数学I・Aの範囲から幅広く出題。特に図形、確率は問題数も多くなる傾向。解答の数値をマークする問題がほとんどだが、選択肢の番号をマークする場合もある。問題のレベルは教科書の例題から章末問題レベル。計算量の多い問題もあるため、時間配分に注

ー数学②

●前期2日程は大問2題、I・A II・Bからバランスよく出題

数学II・Bの範囲から幅広く出題。①同様に計算量の多い問題も出題。典型的な問題が多いため、基本的な問題は公式をうまく活用して短時間で解答。計算と見直しに時間をかけられるよう時間配分を調整しよう。後期日程は大問II、Ⅲで微分・ベクトルなどの総合問題が出題。こちらも難易度も標準的。過去問を利用して練習しよう。

[2026年度実績]

数学①				
範囲	出題内容	公募制推薦入試 日程		
		11/20	11/21	12/15
I	数と式	●	●	●
	2次関数	●		●
	図形と計量	●	●	●
	データの分析	●	●	●
A	場合の数・確率	●	●	●
	図形の性質	●	●	●

[2026年度実績]

数学②					
範囲	出題内容	公募制推薦入試 日程			
		11/20	11/21	12/15 1時限目	12/15 2時限目
I	数と式	●	●	●	
	2次関数			●	
	図形と計量	●	●		●
	データの分析				
A	場合の数・確率	●	●	●	
	図形の性質		●		●
II	複素数と方程式				●
	図形と方程式				●
	三角関数	●	●	●	●
	指数関数・対数関数	●	●	●	●
B	微分法・積分法	●	●	●	●
	数列	●	●	●	●
C	平面ベクトル		●		●
	空間ベクトル	●		●	

一言POINT

数学① 数学IとAが同程度の割合で出題
図形分野が頻出

数学② 数学II・B・Cの出題が多め
数列、微分積分など関数が頻出

大問ごとの解答順序と時間配分

※大問ごとの解答順序と時間配分は、公募制推薦入試 前期日程1日目を対象としています。

問題番号	解答時間 (目安)	問題傾向と学習方法
I	25分	基本～標準的な問題であるが、計算の順番を工夫したり、公式を適切に選ぶことが必要となる問題も出題される。幅広い単元から出題されるため、自身の苦手な単元に関しては教科書や傍用問題集で練習するとよい。
II	25分	
見直し	10分	限られた時間で見直しを効率よく行うために、普段から問題解答の手順、計算過程をきれいに残し置きするのがよい。

過去問演習

●9月

過去問1回分を時間を計って解き、大問ごとの得点や所要時間、失点原因を確認する。特に計算ミス、公式の理解不足、典型問題の解法不足など、どこで得点を落としたのかを明確にしたい。

●10月以降

通し演習を重ね、解く順番や時間配分を定着させる。間違えた問題は教科書や傍用問題集の類似問題で解き直し、基礎知識や典型問題の解法を確実に身につける。

●11月

これまで解いていない過去問を本番形式で解き、限られた時間の中で得点すべき問題を見極める練習を行う。演習後は解答だけでなく、解法の流れや考え方で確認し、同じ失点を繰り返さないよう復習する。

化学

試験時間 60分
満点 100点
解答方式 マークセンス方式

本分析は、2026年度入試問題を対象としています

全体概観

●大問4題構成で、全分野から出題

●理論化学と無機化学は知識問題が多く問われている

●有機化学は知識を組み合わせたり、計算問題が出題される

★大問4題で構成。選択肢から選ぶ問題と、空所に入る数値や化学式を答える問題が出題される。

★大問Iは小問集合で、理論化学を中心に無機化学・有機化学・高分子化学の基礎知識が幅広く問われる。また、大問II以降も理論・無機・有機の各分野から出題される。

★知識問題が多い一方で、気体、溶解度、pH、状態図、冷却曲線、元素分析などの計算問題や図表を読み取る問題も出題される。用語や物質名を覚えるだけでなく、基本計算を正確に処理する力も必要である。

[2026年度実績]

出題内容	公募制推薦入試 日程		
	11/20	11/21	12/15
理論	物質の構成粒子		●
	気体の法則	●	●
	溶液	●	●
	化学反応とエネルギー		●
	化学平衡		●
	酸と塩基の反応と溶解度積	●	●
	酸化還元反応	●	●
無機	非金属元素	●	●
	金属イオンの分離と確認		●

出題内容	公募制推薦入試 日程		
	11/20	11/21	12/15
有機	有機化合物の分類と分析	●	●
	脂肪族化合物	●	
	芳香族化合物		●
	有機化合物の構造		●
	天然高分子化合物		●

一言POINT

① 溶液に関する問題が出題

② 酸・塩基も同様に出題

大問ごとの解答順序と時間配分

※大問ごとの解答順序と時間配分は、公募制推薦入試 前期日程1日目を対象としています。

問題番号	解答時間 (目安)	問題傾向と学習方法
I	12分	小問集合が出題。溶液、気体の法則、酸と塩基の反応と溶解度積、有機化合物の分析などが幅広く出題されるため、基礎知識と計算の両方を確認しておきたい。
III	12分	非金属元素や金属イオンの分離と確認が出題。各物質の性質や沈殿反応を整理して覚えておくことが重要である。
IV	16分	有機化合物の構造や分類と分析、脂肪族・芳香族が出題。反応や構造決定の基本事項を確実に理解しておきたい。
II	14分	溶液、気体の法則、物質の三態と状態変化などが出題。状態図や冷却曲線の読み取り、計算処理に慣れておく必要がある。
見直し	6分	計算ミス、化学式や分子式のマークミスがないかを確認する。

過去問演習

●9月 過去問1回分を時間を計って解き、知識不足、計算ミス、図表の読み違いなどの失点原因を確認する。その後は、理論・無機・有機のうち失点の多かった分野を優先的に補強し、基本事項や典型問題の解法を定着させる。

●10月以降 通し演習で時間配分を定着させる。間違えた問題は正解だけでなく解答の根拠まで確認し、教科書や問題集の類題を用いて知識の整理と計算力の向上を図りたい。

●11月 これまで解いていない過去問を本番形式で解き、限られた時間の中で知識問題と計算問題をバランスよく処理する練習を行う。演習後は間違えた問題を自力で解けるまで復習し、弱点分野の補強につなげる。

生物

試験時間 60分
満点 100点
解答方式 マークセンス方式

本分析は、2026年度入試問題を対象としています

全体概観

- 大問5題構成で、空所補充問題や選択問題、計算問題が出題
- 特定の単元に偏らず、幅広い範囲から出題される
- 基礎から標準レベルの問題が多い

- ★いずれの日程も大問5題で構成。空所補充、選択問題、計算問題が出題されている。計算問題は正しい数値を選ぶ問題だけでなく、計算した数値を桁別にマークする問題も出題されているため、正確な計算力が必要となる。また、誤っている選択肢を選ぶ問題も出題されているため、設問文を丁寧に読むこと。
- ★2026年度入試は、主に遺伝情報の発現や発生と遺伝子発現に加えて、生命の起源・進化のしくみ、生物の系統、植物の環境応答、代謝などの幅広い範囲から出題されている。そのため、偏りのない単元別演習を積み重ねておく必要がある。特にDNAの転写・翻訳やバイオテクノロジーなどの遺伝情報に関する分野は重点的に対策したい。
- ★全問題を通して、基礎から標準レベルの問題が多く出題されている。図表や実験結果の読み取り問題が一定数あるが、一度は問題集で取り組んだことのあるような問題がほとんどで重い考察は少ないため、日頃の演習量が得点につながりやすい。基礎事項は確実におさえるようにし、知識の漏れがないようにするのが望ましい。

[2026年度実績]

出題内容		公募制推薦入試 日程		
		11/20	11/21	12/15
生命現象と物質	細胞と分子	●		
	代謝	●	●	●
遺伝子情報の発現と発生	遺伝情報の発現	●	●	●
	発生と遺伝子発現	●		●
	バイオテクノロジー	●	●	
生物の環境応答	ヒトの体内環境の調節	●		
	動物の反応と行動		●	
	植物の環境応答	●	●	

一言POINT

1

遺伝子情報の発現と発生分野が頻出

2

幅広い単元からバランスよく出題

大問ごとの解答順序と時間配分

※大問ごとの解答順序と時間配分は、公募制推薦入試 前期日程1日目を対象としています。

問題番号	解答時間 (目安)	問題傾向と学習方法
Ⅱ	9分	代謝、細胞と分子の単元から、生体物質やタンパク質、酵素および細胞骨格についての出題。知識問題は最優先で回収したい。
Ⅳ	10分	発生と遺伝子発現の単元が主に出題。動物の発生過程や生殖の流れを意識し、卵割や胚葉、形成体などについて整理しておくこと。
Ⅴ	11分	植物の環境応答の単元が主に出題。被子植物の授精・発生・花芽形成についての正確な理解が必要。
Ⅲ	12分	遺伝情報の発現の単元が主に出題。DNAの複製や転写・翻訳の問題が出題されているため、それぞれの流れや手順を理解しておくこと。酵素名などの基礎知識についても要確認。
I	12分	生命の起源・進化のしくみ、生物の系統の単元が出題。特に分子系統樹・分子時計の計算に注意する。
見直し	6分	選択肢の読み違いや解答欄間違い、計算ミスなどがないか確認する。

過去問演習

- 9月…………過去問1年分を時間を計って解き、知識不足や図表・実験結果の読み違い、計算ミスなどの失点原因を確認する。その後は、失点の多かった単元を優先的に補強し、基礎事項の定着を図る。
- 10月以降……通し演習で時間配分を定着させる。間違えた問題は正解を確認するだけでなく、なぜその選択肢が正しいのか、他の選択肢がなぜ誤りなのかまで説明できるように復習したい。
- 11月…………これまで解いていない過去問を本番形式で解き、幅広い単元からの出題に対応できるかを確認する。演習後は知識の抜け漏れや苦手分野を洗い出し、本番までに重点的に補強する。

物理

試験時間 60分
満点 100点
解答方式 マークセンス方式

本分析は、2026年度入試問題を対象としています

全体概観

- 大問3題構成で、公式を適切に活用できれば解ける問題が多く出題
- 標準的な難易度
- 力学・電磁気学の分野が両日程で出題

- ★両日程とも大問3題で構成。一つの物理現象や設定を複数の設問で段階的に掘り下げる問題と、複数の小テーマから構成される問題が出題されている。
- ★基本から標準レベルの問題が中心であり、教科書で扱われる法則や公式を正しく理解し、問題の状況に合わせて使い分ける力が求められる。また、条件整理や文字式の処理に時間を要する問題もある。
- ★力学と電磁気学は両日程で大問として出題されている。残る1題は、11/20日には熱、11/21には波動、と第3分野から出題されているため特定の分野に偏らず対策しておきたい。

[2026年度実績]

出題内容		公募制推薦入試 日程	
		11/20	11/21
力学	等加速度運動	●	
	力とつり合い	●	●
	運動の法則	●	
	抵抗力を受ける運動	●	
熱力学	温度と熱量	●	
波動	波の性質		●
	音波		●

一言POINT

1

力学・電磁気学が必ず出題

2

波動・熱力学も出題

大問ごとの解答順序と時間配分

※大問ごとの解答順序と時間配分は、公募制推薦入試 前期日程1日目を対象としています。

問題番号	解答時間 (目安)	問題傾向と学習方法
Ⅱ	15分	直流回路(電流と抵抗・抵抗率)、電流と磁場(電流が磁場から受ける力・直線電流がつくる磁場)から出題。電圧と電流のグラフから抵抗を読み取る方法や、右ねじの法則・フレミングの左手の法則を確実に使えるようにしておきたい。
Ⅲ	15分	温度と熱量、気体分子の運動と状態変化から出題。熱容量、比熱、潜熱の意味を理解し、物体の温度が変化しているのか、状態変化をしているのかを区別して立式することが重要である。
I	20分	斜面上の運動を題材として、運動の法則(運動方程式)、等加速度運動、抵抗力を受ける運動(力学的エネルギー・摩擦と仕事)が問われている。前半の基本問題を確実に解き、後半の摩擦に関する問題で時間を使いすぎないように注意したい。
見直し	10分	未解答の問題に再度取り組み、力や磁場の向き、単位、平方根、マーク位置を確認する。

過去問演習

- 9月…………過去問1回分を時間を計って解き、大問ごとの得点や所要時間、失点原因を確認する。特に計算ミス、公式や法則の理解不足、条件整理の不十分さなど、どこで失点したのかを明確にしたい。
- 10月以降……通し演習を重ね、解く順番や時間配分を定着させる。間違えた問題は正解だけを確認するのではなく、どの法則を使うべきだったのか、図や条件を正しく整理できていたのかまで振り返ることが重要である。
- 11月…………これまで解いていない過去問を本番形式で解き、限られた時間の中で得点すべき問題を確実に解く練習を行う。演習後は力や磁場の向き、単位、計算過程を再確認し、弱点分野の補強につなげたい。